

# SEIKO

年間プログラムタイマー用

パネル型 Q T 6 8 基本ユニット

---

親時計モニタ MU-5103

子時計モニタ SU-5103・5203・5303

---

## 取扱説明書

このたびは、セイコー製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、お読みになった後はいつでもご覧いただけますよう、大切に保管してください。

セイコータイムシステム株式会社



SEIKO TIME SYSTEMS INC.

—ご注意—

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは、禁止されております。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定のサービス部門以外の第三者により修理・変更されたことに起因して生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

—本書で使用する記号について—

本書に使用される記号の意味は次の通りです。

 <b>危険</b>	誤った取り扱いをしたとき、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたとき、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

次の絵表示は、禁止事項を示します。



一般的な禁止



分解禁止



水場での使用禁止



接触禁止

次の絵表示は、必ず実行していただく事項を示します。



一般的な指示



アース線の接続



# 目 次

1. 安全のために必ずお守りください	1
2. 本書の適用機種	4
3. 付属品・予備品	4
4. 各部の名称と機能	4
5. 取り付け方法	5
5.1 取り付け上の注意点	5
5.2 結線前の作業	6
5.3 結線上の注意点	6
5.4 ユニット間の接続（背面）	7
5.5 子時計との結線	8
6. 親モニター・子モニターの合わせ方	9
7. 子時計停電補償	9
8. 故障と思われる前に	9
9. バッテリーの交換について	10
10. お客様へのお願い	11
11. 保証について	11
12. QT-6800 シリーズ[パネル型] 組み合わせ表	11
13. 仕様	12

# 1. 安全のために必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい注意事項を示しています。

## ●お客様用

 危険		
取り付け・電気工事の禁止	お客様は取り付け・電気工事および文中の「工事業者様へ」と書かれた枠内の作業を絶対に行わないでください。必ず、工事業者様へご依頼ください。感電・火災・落下の危険があります。	

 警告		
設置場所の選択	この製品は、屋外に設置しないでください。屋内用のため、水が侵入すると、感電や火災の原因になります。	
	浴室や水場など湿気の多い所に設置しないでください。感電や火災の原因になります。	
異常時の処置	煙が出たり、異臭がするなど異常が発生したときは、すぐに電源スイッチと、もとの電源を切ってください。 修理は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。	
分解・修理・改造の禁止	修理は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。修理技術者以外の方が分解したり修理・改造を行うと感電や火災の原因になります。	
操作時の注意点	各モニタの時刻合わせをするとき、指定の操作部以外、触れないでください。感電することがあります。	
液体禁止	水や薬品などの液体をついたり、かけたりしないでください。万一、これらが内部に入ったときは、電源スイッチと、もとの電源を切ってください。 点検は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。	
ぬれた手禁止	ぬれた手で製品の操作や電源の入り切りをしないでください。感電することがあります。	
電源コード類の取り扱い	電源プラグを抜き差しするときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って、抜き差ししてください。（電源プラグ付きの場合）破損し、感電や火災の原因になります。	
	電源コードを傷つけたり、加工したり、重い物をのせたり、無理に曲げたりしないでください。感電や火災の原因になります。	
	痛んだ電源コードやプラグ、差し込みのゆるいコンセントは使用しないでください。感電や火災の原因になります。	



## 警告

電源	AC100V 50/60Hz 以外は使用しないでください。 それ以外の電源を使用すると感電や火災の原因になります。	
アース線の 確認	製品のアース端子に、アース線が取り付けであることを確認してください。 アース線が付いていないと、故障や漏電のとき感電することがあります。 アース線は、D種接地以上の工事を必要としますので、工事業者へご依頼ください。	
ヒューズ交換 の禁止	ヒューズの交換作業は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へ ご依頼ください。お客様が交換作業を行うと感電することがあります。	
ニカド電池の 交換と回収	お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。 感電することがあります。	
外装のお手入れ 前の注意点	お手入れのときは、もとの電源を切ってください。感電することがあります。	
内部のお手入れ 禁止	内部のお手入れは、行わないでください。お買い上げいただいた販売店 もしくは販売会社へご依頼ください。お客様が作業をすると、感電すること があります。	



## 警告

## 取り付け工事の注意事項

取り付け場所 の選択	この製品は、屋外に設置しないでください。屋内用のため、水が浸入すると、感電や火災の原因になります。	
	浴室や水場など湿気の多い所に設置しないでください。感電や火災の原因になります。	
取り付けネジ の締め付け	製品の取り付けネジは十分に締め付けてください。締め付けが不十分だと風圧や振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。	
電気工事	入出力端子台に結線するときは、AC100V 50/60Hzが供給されていないこと、およびバッテリーが接続されていないことを確認してください。感電することがあります。	
接地工事	製品のアース端子にアース線を取り付けてください。アース線が取り付けいていないと、故障や漏電のとき感電することがあります。なお、接地はD種接地以上の工事を施工してください。	
端子台 保護カバーの 取り付け	入出力端子台の結線作業後、端子台の保護カバーをもとの位置に取り付けてください。取り付けいていないと、感電することがあります。	
電源	AC100V 50/60Hz 以外は使用しないでください。それ以外の電源を使用すると感電や火災の原因になります。	
バッテリーの 接続	バッテリーの接続は、取り付けおよび電気工事完了後、製品に電源が供給されていないことを確認し実施してください。感電することがあります。	
バッテリーの 交換	本製品には、必ず指定のバッテリーをご使用ください。	
ヒューズの 交換	ヒューズが溶断し交換するときは、原因を取り除き、電源スイッチを切ってから、指定のヒューズと交換してください。感電や火災の原因になります。	

## 2. 本書の適用機種

- 本書は次の機種を対象としています。

親時計モニタユニット：MU-5103

子時計モニタユニット：SU-5103、SU-5203、SU-5303

※SU-5303は受注品です

- 年間プログラムタイマユニット、親時計モニタユニット、子時計モニタユニットを組み合わせることにより、QT-6800シリーズ〔パネル型〕として多彩な親時計装置を形成できます。

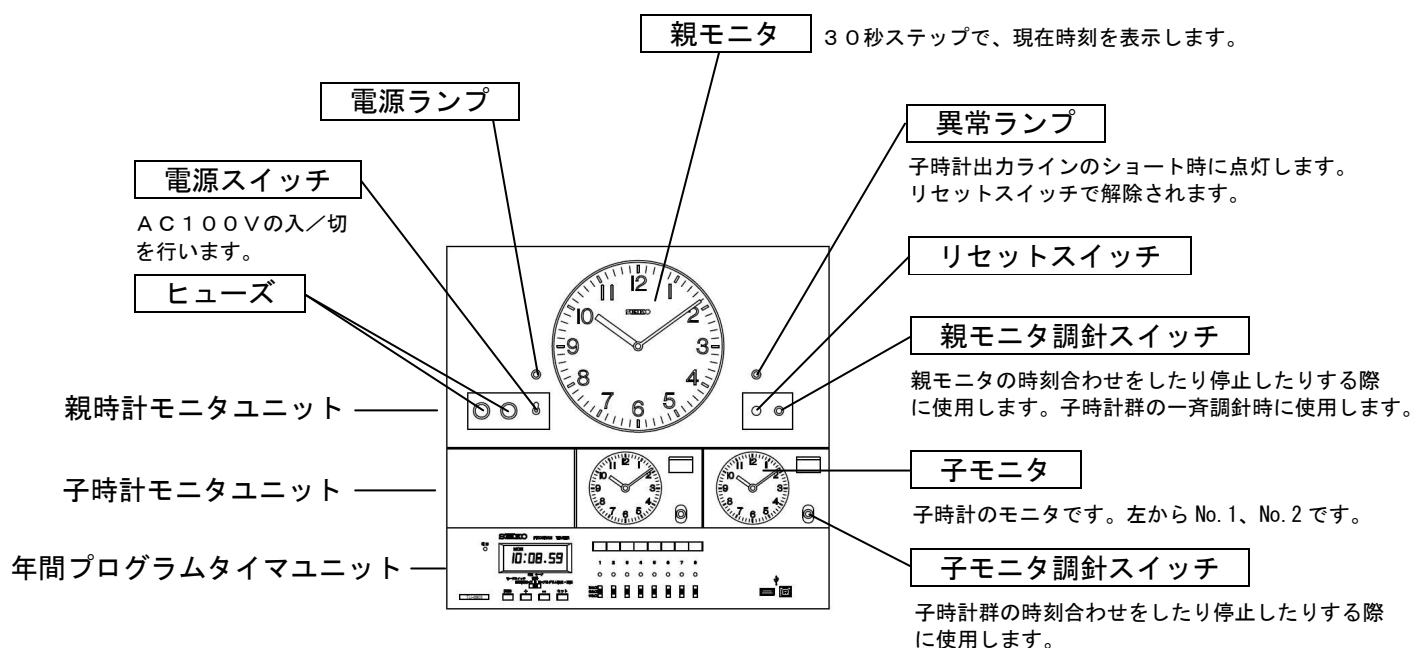
- 年間プログラムタイマユニットTU-6803XXは、別途専用の取扱説明書をご覧ください。

## 3. 付属品・予備品

付属品および予備品は、下記の通りです。



品 名	親時計モニタユニット	子時計モニタユニット
中継ケーブル	1本	1本
絶縁被覆付圧着端子	2個	SU-5103 2個 SU-5203 4個 SU-5303 6個
管入りヒューズ	2個 125V、4A	4個（ミニヒューズ） 125V、2A
バッテリー用コネクタ	—	1個
取扱説明書	1部	1部

## 4. 各部の名称と機能



例 QT-6823



## 5. 取り付け方法



 <b>警告</b>	
取り付け・電気工事の禁止	お客様は、取り付け・電気工事および文中の「工事業者様へ」と書かれた枠内の作業を絶対に行わないでください。必ず、工事業者様へご依頼ください。感電・火災・落下の危険があります。 

### 工事業者様へ

#### 5. 1 取り付け上の注意点



##### ●取り付け場所の選択

 <b>警告</b>	この製品は、屋外に設置しないでください。屋内用のため、水が浸入すると感電や火災の原因になります。 
---	--



 <b>警告</b>	浴室や水場など湿気の多い所に設置しないでください。感電や火災の原因になります。 
--	--

温度、湿度、振動などを考慮し、環境のよい場所をお選びください。  
特に、環境温度は－１０℃～＋５０℃の間の場所の設置してください。

##### ●取付工事



 <b>警告</b>	製品の取り付けネジは、十分締付けてください。締付けが不十分だと振動などで製品が落下し、人身事故にいたることがあります。 
---	---

##### ●電源

 <b>警告</b>	AC100V 50/60Hz 以外は使用しないでください。それ以外の電源を使用すると感電や火災の原因になります。 
---	--

交流電源は昼夜連続使用しますので、専用電源をご使用ください。

##### ●電気工事

 <b>警告</b>	入出力端子台に結線するときは、AC100V 50/60Hz が供給されていないことと、バッテリーが接続されていないことを確認してください。感電することがあります。 
---	---



- 電波修正機能付の製品は、ラジオが受信できる場所（電界強度の強い場所）に設置してください。屋内アンテナで受信しづらい場合は、屋外アンテナを使用してください。アンテナと本体の間は同軸ケーブルを使用してください。





## 5. 2 結線前の作業

- (1) 子時計を取り付ける前に指針をすべて一定の時刻（例えば12時）に合わせておいてください。合わせ方は機械体のふたを開け、内部の歯車を指先で回して行います。指針が露出しているものは指で直接針を回してください。
- (2) 子時計と各モニタの結線前に親モニタと子モニタの指針を次の方法に合わせておいてください。P7の“5. 4 ユニット間の接続（背面）”、P9の“6. 親モニタ・子モニタの合わせ方”を参照してください。
  - ①AC100V、中継ケーブルを仮配線してください。
  - ②電源スイッチを「入」にしてください。電源ランプが点灯します。
  - ③電源投入時、異常ランプが点灯しているので、リセットスイッチを押してください。異常ランプが消灯します。
  - ④親モニタと子モニタの調針スイッチを「調整」側に倒し、子時計群と同一時刻（例えば12時）に合わせてください。

## 5. 3 結線上の注意点

	<p><b>警告</b> 端子台の結線および中継ケーブルを接続するときは、電源が通電されていないことを確認してください。感電することがあります。</p>	
---	--	---

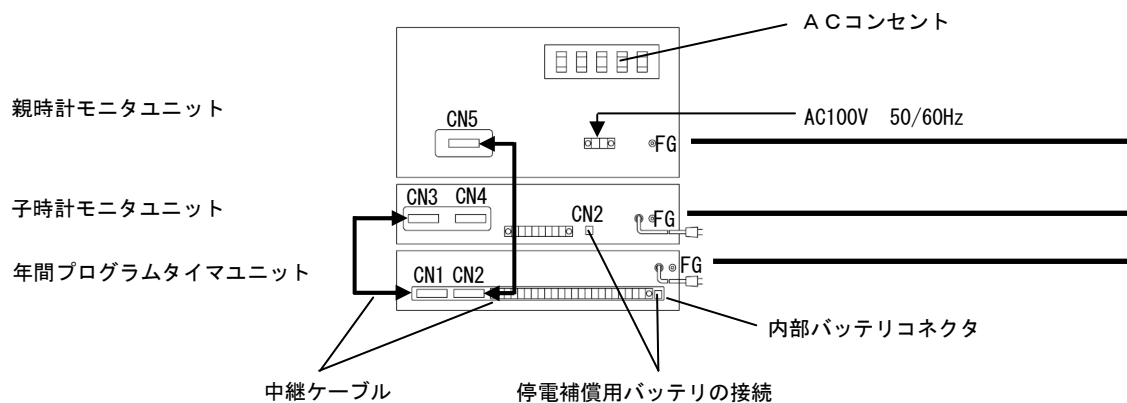
- (1) 端子台に結線する際は付属の圧着端子でしっかり固定してください。
- (2) 子時計の結線は極性を間違えないでください。指示時刻が30秒狂います。
- (3) 子時計回路の容量は1回路あたり360mAです。子時計1台の消費電流が12mAのとき、最大取り付け子時計数は30台となります。ただし時計の大きさ、機種によって消費電流が異なりますので確認してください。両面型子時計の消費電流は2倍になります。
- (4) 端子台保護カバーを取り付けてください。

	<p><b>警告</b> 端子台の結線作業後、端子台の保護カバーをもとの位置に取り付けてください。取り付けていないと感電することがあります。</p>	
---	--	---

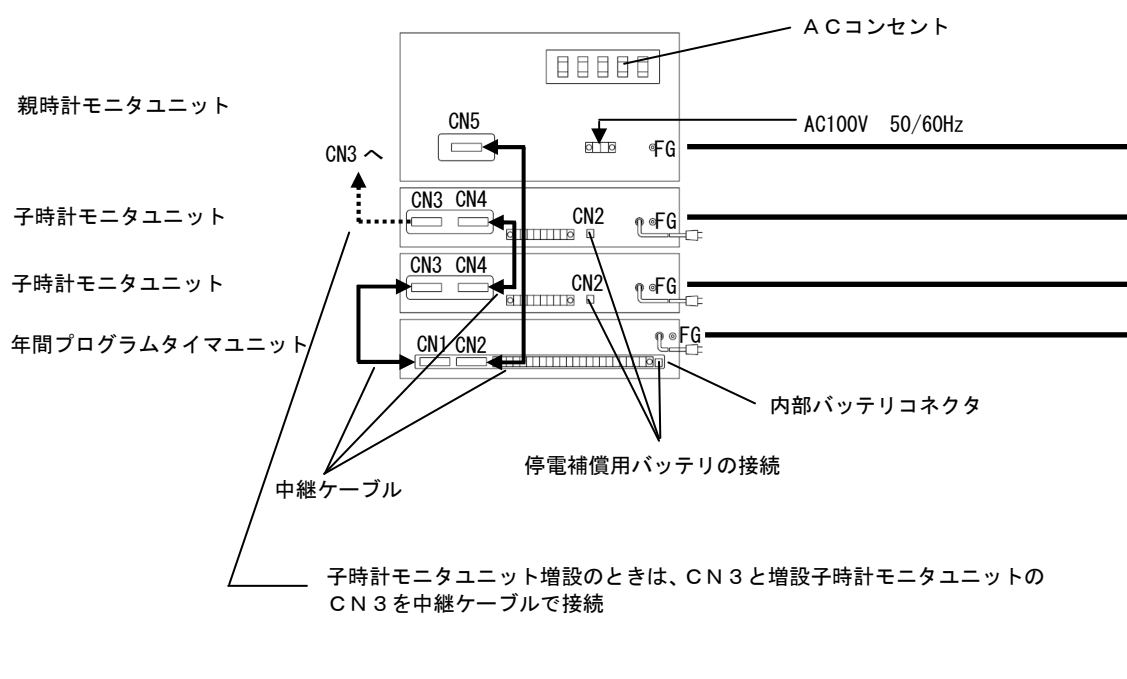
## 5. 4 ユニット間の接続（背面）

- (1) 付属の中継ケーブルで年間プログラムタイマユニットのCN 1と子時計モニタユニットのCN 3、年間プログラムタイマユニットのCN 2と親時計モニタユニットのCN 5を接続します。
- (2) 子時計モニタユニットと年間プログラムタイマユニットのAC電源プラグを、親時計モニタユニットのACコンセントに接続します。
- (3) 子時計モニタユニットのCN 2及び年間プログラムタイマユニットの内部バッテリーコネクタに、付属のコネクタを差し込んでください。停電補償用バッテリーが接続されます。

子時計モニタユニット 1 台の場合



### 子時計モニタユニット増設の場合



## ● 接地工事



# 警告

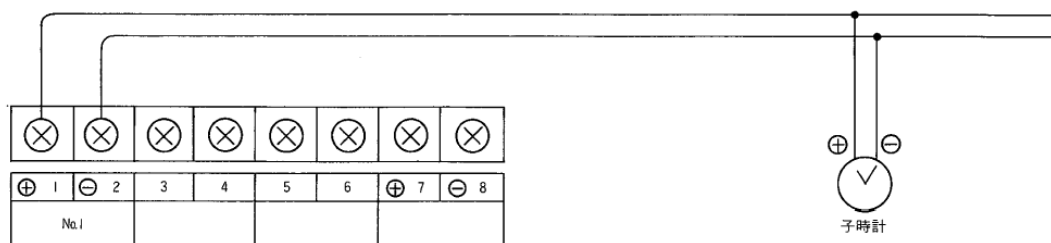
製品のアース端子（F G）にアース線を取り付けてください。アース線が取り付けしていないと、故障や漏電のとき感電することがあります。なお接地はD種接地以上の工事を施工してください。



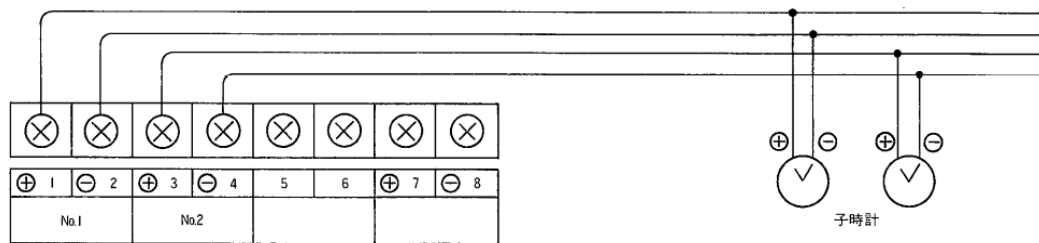
## 5. 5 子時計との結線

子時計は（＋）端子にプラス、（－）端子にマイナスを接続してください。このとき時刻が0秒になると分針が分目盛を指すようになっています。（0秒側パルスと言います）  
結線時に極性が間違っていると30秒狂います。

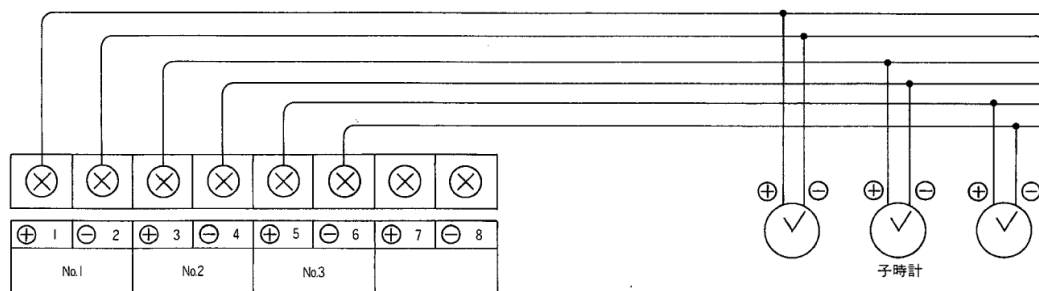
### ●SU-5103



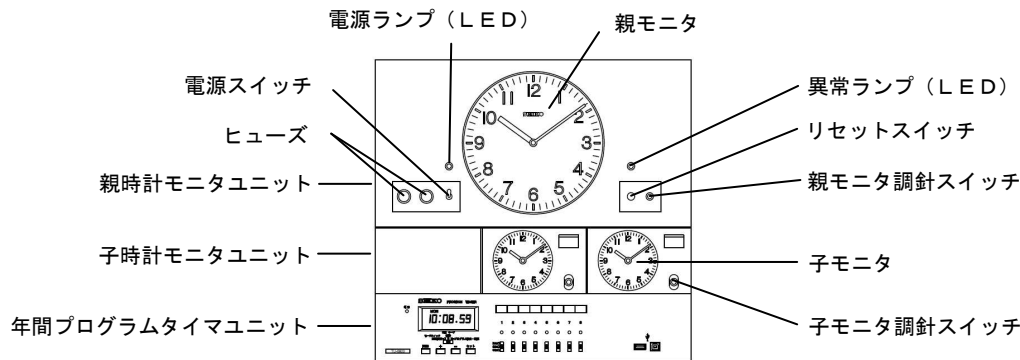
### ●SU-5203



### ●SU-5303



## 6. 親モニタ・子モニタの合わせ方



- (1) 親モニタ・子モニタ・子時計群を同一時刻（例えば12時）に合わせます。  
P6の“5. 2 結線前の作業”を参照してください。
- (2) 電源スイッチを「入」にしてください。電源ランプが点灯します。  
電源投入時、異常ランプが点灯しているので、リセットスイッチを押してください。  
異常ランプが消灯します。
- (3) 再度点灯するときは次の原因が考えられます。  
子時計群への配線が短絡している。または定格以上の子時計が接続されている。  
このとき過電流検知が作動し異常ランプが点灯します。  
不具合を修復後リセットスイッチを押してください。異常ランプは消灯します。
- (4) すべての時刻を合わせた後、各調針スイッチを「正常」に倒します。この状態で親モニタの調針スイッチを「調整」側に倒すと親モニタ・子モニタ・子時計群が60倍速で調針されます。

## 7. 子時計停電補償

- (1) 停電補償時間は30時間です。
- (2) 繰り返して停電があった場合、その合計時間が補償時間以内であれば、時計は内部バッテリーにより正常な動作を続けます。
- (3) 停電が補償時間以上の場合、すべての子モニタ・子時計群は止まります。再送電（AC100V）されたとき、子モニタ・子時計群が止まっている場合はリセットスイッチを押してください。
- (4) 停電が補償時間以上継続し、その後送電されても内部バッテリーを完全に充電するには約3日間かかります。バッテリーが完全に充電される前に停電となった場合、停電補償時間を保てないことがあります。



## 8. 故障と思われる前に

### ●親モニタ・子モニタ・子時計群が止まったり狂ったりする場合は

まず、次のことを確認してください。

- (1) 補償時間以上の停電が発生していないか。
- (2) 電源スイッチが「ON」になっているか。
- (3) 操作スイッチは「正常」側か。
- (4) 子時計は確実に接続されているか。
- (5) 子時計モニタユニットのCN2に付属のコネクタが差し込まれているか。  
(差し込まないと停電時に子時計群が止まってしまいます。)

●以上の確認で直らないとき、またはその他の異常が発生したときは、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご連絡ください。

 <b>警告</b>	修理は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。修理技術者以外の方が分解したり修理・改造を行うと感電や火災の原因になります。	
---	--	---

●次のことを確認してください。

現 象	原 因	処 置
<div>止まり</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異常ランプ点灯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子時計配線の短絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短絡を処置してリセットスイッチを押してください。異常ランプが消灯します</li> <li>・時刻を正しく合わせてください</li> </ul>
<div>遅れ</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子時計が30秒狂う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極性が合っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極性を正しく合わせてください</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数時間狂う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停電が補償時間以上あった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻合わせをして様子を見てください</li> </ul>

## 9. バッテリーの交換について

お客様へ

●本製品はバッテリーを使用しています。このバッテリーは消耗品です。製品の性能を維持するためにも4～5年を目安に定期的に交換を行ってください。



### 警告

時計のバッテリー交換は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。お客様が交換されると感電することがあります。



工事業者様へ

- 本製品に使用している『ニカド組電池』は専用のバッテリーです。必ず弊社指定のバッテリーをご使用ください。
- テスタ等によるバッテリー電圧測定では、バッテリーの劣化の状態は把握できません。製品の性能を維持するためにも、4～5年を目安に定期的にバッテリー交換を行ってください。
- 製品のバッテリー交換をする場合は、配線の接続を必ず元通りの状態に戻してください。誤った接続をすると、ヒューズ切れ、製品の破損につながる場合があります。



### 警告

本製品には、必ず指定のバッテリーをご使用ください。





#### 充電式電池リサイクルにご協力を

本製品のバッテリーは、充電式電池を使用しています。充電式電池にはリサイクル可能な貴重な資源が使われています。ご使用後の充電式電池につきましては、お買い上げ頂いた販売店もしくは販売会社までご連絡ください。

## 10. お客様へのお願い

### ●ヒューズの交換について

 <b>警告</b>	ヒューズの交換作業は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご依頼ください。お客様が交換作業を行うと感電することがあります。	
---	---	---

### ●外装の手入れの仕方

外装の汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量やわらかい布につけて拭き、拭いた後で乾拭きをしてください。

ベンジン、シンナー、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。

## 11. 保証について

- この製品の修理用部品の保存期間は、通常7年を基準としています。正常なご使用であればこの期間は原則として修理は可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するのに不可欠な製品本体の部品です。
- 修理の可能な期間はご使用条件によりいじりく異なりますし、精度も元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際は、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品などは、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- その他ご不明の点がありましたら、お買い上げいただいた販売店もしくは販売会社へお問い合わせください。

## 12. QT-6800 シリーズ[パネル型] 組み合わせ表

下の表は、年間プログラムタイマユニット、親時計モニタユニット、子時計モニタユニットを組み合わせることにより、親時計装置を形成したときの組み合わせ表です。

組み合わせ表中の●は1台を、数値は必要数を表しています。

また、“M”は電子チャイムユニット付、“R”はFM電波修正ユニット付です。

型式名	QT-6813				QT-6823				QT-6833				QT-6843				QT-6853				QT-6863			
	標準	M	R	RM	標準	M	R	RM	標準	M	R	RM	標準	M	R	RM	標準	M	R	RM	標準	M	R	RM
TU-6803	●				●				●				●				●				●			
TU-6803M		●				●				●				●				●				●		
TU-6803R			●				●				●				●				●				●	
TU-6803RM				●				●				●				●				●				●
MU-5103	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
SU-5103	●	●	●	●					●	●	●	●					●	●	●	●				
SU-5203					●	●	●	●	●	●	●	●	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3

SU-5303 との組み合わせは受注品です。

# 1 3.仕様

## MU-5103

機能	仕 様		
	項 目	型式名	MU-5103
時計表示		30秒間欠運針	
時刻合わせ		APC方式による60倍速自動早送り装置付	
入力電源		AC100V±10% 50/60Hz 定格容量 AC100V 200VA (サービソコンセント用)	
定格消費電流		DC24V 0.04A	
停電補償時間		30時間 (30～60時間の停電時は、停電復帰後自動調針)	
使用温度範囲		-10℃～+50℃	
外形寸法		EIA規格：W480×H221×D227 JIS規格：W480×H249×D227 単位：mm (ラックマウント金具含む)	
質量		EIA規格：約5.8kg JIS規格：約6.0kg	
ケース		前面パネル：鋼板、パールグレー3分ツヤ有り 本体：鋼板、パールグレー3分ツヤ有り	
付属品		中継ケーブル、絶縁被覆付圧着端子、ヒューズ、取扱説明書、 ラックマウント金具(EIA規格)またはラックマウント金具(JIS規格)のいずれか	

## SU-5103・SU-5203・SU-5303

機 能		仕 様				
		項 目	型式名	S U - 5 1 0 3	S U - 5 2 0 3	S U - 5 3 0 3 ※2
			子時計回路数	1 回路	2 回路	3 回路
時計表示			3 0 秒間欠運針			
時刻合わせ			A P C方式による6 0 倍速自動早送り装置付			
子 時 計 駆 動	駆動信号		D C 2 4 V    3 0 秒有極信号    パルス幅0. 5 秒    無接点			
	最大駆動数	3 0 台	6 0 台	9 0 台		
		1 台 1 2 m A、3 0 台／1 回路				
	最大駆動容量	3 6 0 m A	7 2 0 m A	1 0 8 0 m A		
		3 6 0 m A／1 回路				
	停電時電源		D C 2 4 V    密閉型ニッケル・カドミウム蓄電池を本体に内蔵			
	電池保護		過放電防止回路			
信号電圧検知		信号電圧停止装置（子時計駆動電圧低下時に出力停止）				
入力電源			A C 1 0 0 V ± 1 0 %    5 0 ／ 6 0 H z			
消費電力 ※1			2 0 W	3 5 W	5 0 W	
停電補償時間			3 0 時間（3 0 ～ 6 0 時間の停電時は、停電復帰後自動調針）			
使用温度範囲			－ 1 0 ℃ ～ ＋ 5 0 ℃			
外形寸法			E I A 規格：W480×H88×D215 J I S 規格：W480×H99×D215 単位：mm ラックマウント金具含む	E I A 規格：W480×H88×D215 J I S 規格：W480×H99×D215 単位：mm ラックマウント金具含む	E I A 規格：W480×H88×D315 J I S 規格：W480×H99×D315 単位：mm ラックマウント金具含む	
質 量	E I A 規格		約 5. 8 k g	約 5. 8 k g	約 9. 8 k g	
	J I S 規格		約 6. 0 k g	約 6. 0 k g	約 1 0. 0 k g	
ケース			前面パネル：A B S および鋼板、パールグレー 3 分ツヤ有り 本体：鋼板、パールグレー 3 分ツヤ有り			
付属品			中継ケーブル、絶縁被覆付圧着端子、ミニヒューズ、取扱説明書、バッテリー用コネクタ、 ラックマウント金具 (E I A 規格) またはラックマウント金具 (J I S 規格) のいずれか			

※1：消費電力は子時計モニタユニット単体の値です (最大負荷時) ※2：SU-5303は受注品です

QT-6800 シリーズ〔パネル型〕

機能	項目	型 式 名	QT-6813	QT-6823	QT-6833	QT-6843	QT-6853	QT-6863
			QT-6813M	QT-6823M	QT-6833M	QT-6843M	QT-6853M	QT-6863M
		子時計回路数	1 回路	2 回路	3 回路	4 回路	5 回路	6 回路
親時計	水晶発振周波数		4. 1 9 4 3 0 4 M H z					
	時計精度		週差±0. 7 秒以内 (+ 5 °C ~ + 3 5 °C)、時刻修正時は積算誤差 0					
	時計表示	親時計	時、分、秒、曜日 切換えにより 年、月、日、曜日 デジタル 2 4 時制表示 (停電時非表示)					
		モニタ時計	3 0 秒間欠運針					
	時刻合わせ	親時計	年、月、日、時、分 各桁合わせスイッチ、及び 0 秒合わせによる					
		モニタ時計	A P C 方式による 6 0 倍速自動早送り装置付					
	サマータイム		パソコンから U S B ケーブル接続あるいは U S B メモリで設定					
	うるう秒調整		キーにより設定 ※うるう秒調整は自動					
	子時計駆動	駆動信号	D C 2 4 V 3 0 秒有極信号 パルス幅 0. 5 秒 無接点					
		最大駆動数	3 0 台	6 0 台	9 0 台	1 2 0 台	1 5 0 台	1 8 0 台
			1 台 1 2 m A、3 0 台 / 1 回路					
		最大駆動容量	3 6 0 m A	7 2 0 m A	1 0 8 0 m A	1 4 4 0 m A	1 8 0 0 m A	2 1 6 0 m A
			3 6 0 m A / 1 回路					
		停電時電源	D C 2 4 V 密閉型ニッケル・カドミウム蓄電池を本体に内蔵					
		電池保護	過放電防止回路					
		信号電圧検知	信号電圧停止装置 (子時計駆動電圧低下時に出力停止)					
	外部同期入力		3 0 秒有極信号 ※毎時 (同期可能誤差範囲 ± 1 5 秒以内)					
			R S - 4 2 2					
	外部同期出力		R S - 4 2 2					
プログラムタイマ	制御方式		C P U 使用					
	出力回路		独立 8 回路 接点出力 (メイク接点)					
	出力動作切換え		各回路ごとに手動切換え可能 (自動、停止、手動)					
	負荷容量 (1 回路あたり)		抵抗負荷 A C 1 2 5 V 1 6 A、A C 2 7 7 V 1 0 A、D C 3 0 V 1 0 A 最大許容電圧 A C 2 7 7 V、D C 3 0 V 最大許容電流 1 6 A (A C 1 2 5 V)、1 0 A (D C 3 0 V) 最小適用負荷 D C 5 V 1 0 0 m A					
	出力形式	報 時	設定時刻最小単位 : 1 分 設定時間最小単位 : 1 秒 立ち上がり時間 : 0 秒 または - 3 秒、- 1 0 秒、- 3 0 秒から選択					
		キープ	設定時刻最小単位 : 1 分 設定時間最小単位 : 1 分 設定時間 : 1 分 ~ 2 年					
	プログラム設定方法		パソコンから U S B メモリあるいは U S B ケーブル接続で設定					
	プログラム確認方法		キースイッチにより L C D のデジタル表示部に表示					
	プログラム	年間プログラム	週間プログラム 1 ~ 9 9 を基本設定・期間設定・祭日設定・個別設定により指定 プログラム期間 : 設定年より 2 年間 (基本設定は継続使用可能)					
		週間プログラム	週間プログラム数 9 9 種類 プログラム期間 : 1 週間 (繰り返し)					
	最大プログラム数		1 0 0 0 ステップ (8 回路合計)					

SU-5303 との組み合わせは受注品です。



QT-6800 シリーズ〔パネル型〕

機 能	項 目	型 式 名	QT-6813	QT-6823	QT-6833	QT-6843	QT-6853	QT-6863	
			QT-6813M	QT-6823M	QT-6833M	QT-6843M	QT-6853M	QT-6863M	
			QT-6813R	QT-6823R	QT-6833R	QT-6843R	QT-6853R	QT-6863R	
			QT-6813RM	QT-6823RM	QT-6833RM	QT-6843RM	QT-6853RM	QT-6863RM	
		子時計回路数	1 回路	2 回路	3 回路	4 回路	5 回路	6 回路	
電 子 チャイム ユニ ット (M付)	音源方式		DWS (Dual Wave Synthesis) 音源						
	選曲方式		パソコンからUSBメモリあるいはUSBケーブル接続で設定、設定時刻毎に曲目の指定が可能						
	曲目		1、ウエストミンスターの鐘    2、エーデルワイス    3、小さな恋のメロディ 4、チムチム・チェリー    5、ビビディ・バビディ・ブー    6、夕焼け小焼け 7、家路    8、別れの曲    9、美女と野獣    10、ア・ホール・ニュー・ワールド						
	ライン出力		最大0.5Vrms (10kΩ負荷時) ※ボリュームで可変可能						
	モニタ出力		内蔵スピーカ    定格出力0.2W ※ボリュームで可変可能						
	オーディオアンプ制御		プログラムタイマの出力の1回路を使用    立ち上がり時間設定可能						
	電 波 修 正	ラ ジ オ (R付)	動作方式	NHK-FM放送の時報を検出し、親時計を修正する					
修正可能誤差範囲			±15秒以内						
時刻修正回数			NHK-FM    1日2回 (7時、19時)						
受信方式			スーパーヘテロダイン方式						
同調方式			PLL方式						
選局方法			キーにより選局						
受信周波数範囲			FM    76MHz～90MHz (0.1MHzステップ)						
受信感度			25dBf						
長 波		受信周波数	標準電波40／60kHz (自動切換え方式)						
		受信感度	50dBμV／m    長波受信器に付属の専用ケーブルを使用してください						
	時刻修正回数	1日24回毎正時に実施							
共 通	入力電源		AC100V±10%    50／60Hz						
	消 費 電 力	標準	35W	50W	70W	85W	105W	120W	
		M付	35W	50W	70W	85W	105W	120W	
		R付	35W	50W	70W	85W	105W	120W	
		RM付	35W	50W	70W	85W	105W	120W	
	停電 補償 時間	プログラム	プログラムタイマのメモリ保持    EEPROMに記憶    約10年						
		親時計	約5年 (デジタル表示は非表示、時間カウントのみ)						
		子時計駆動	30時間 (30～60時間の停電時は、停電復帰後自動調針)						
	使用温度範囲		－10℃～＋50℃						
	外形 寸法	EIA 規格 (単位 mm)	W480×H399×D227			W480×H488×D227		W480×H577×D227	
		JIS 規格 (単位 mm)	W480×H449×D227			W480×H549×D227		W480×H649×D227	
	質 量	EIA 規格	約 17.0kg	約 17.0kg	約 22.0kg	約 22.0kg	約 27.0kg	約 27.0kg	
		JIS 規格	約 17.5kg	約 17.5kg	約 22.5kg	約 22.5kg	約 27.5kg	約 27.5kg	
ケース		前面パネル：ABS および鋼板、パネル3分ツヤ有り    本体：鋼板、パネル3分ツヤ有り							
オプション			屋内アンテナ (ANT-FM3, BASE-FM3)、屋外アンテナ (ANT-FM4, BASE-FM4)、 電子チャイムユニット、FM電波修正ユニット、長波受信器 (LFR-200R-10C) GPS受信器 (GPS-200)						

SU-5303との組み合わせは受注品です。

当製品に関するお問い合わせおよび修理依頼は、お買い上げ  
いただいた販売店もしくは下記へご連絡ください。

## セイコータイムシステム株式会社

東 京	03 (5646) 1601	札 幌	011 (640) 6280
東 北	022 (261) 1323	信 越	0263 (27) 8601
名古屋	052 (723) 8531	大 阪	06 (6445) 8804
広 島	082 (245) 2571	九 州	092 (475) 1291

## セイコータイムシステム株式会社

URL <http://www.seiko-sts.co.jp>